

磐城立憲新報

發行所 磐城縣石城郡平野町櫻七番地
電話 七〇七
印刷所 磐城縣石城郡平野町櫻七番地
電話 七〇七

訂價表
日行發 每月十五日一日
一月 一元二角
三月 三元五角
半年 六元五角
一年 十二元

廣告費
第一版 每行一角五分
第二版 每行一角
第三版 每行八角
第四版 每行六角
第五版 每行四角
第六版 每行三角

編輯人 小泉宗雄
印刷人 小泉宗雄

野崎滿藏

長瀬卯太

平運輸株式會社

廣瀬支店

大和田信太郎

長谷川則道

平町會議員

太陽生命保險會社

平町田町

湯本町

好田村

下旅内村小島新町

渡邊森之助

新妻

雄

楠森正文

隆雄

武藏

屋園

業營介

瀨戶吉郎右衛門

普選法に對する疑義の解釋

内務司法會議で發表

普選法の疑義は全條を通じて甚だ多く各方面共非常に之が解釋に惑へる有様である、依て内務司法兩省は合議の上取り敢えず左の如く發表して疑義の氷解に努めてゐる

推薦状の意義

一、推薦状に付ては内務省は法文の文句及解釋の理論より從來選舉毎に其例を多く見たる推薦状と稱せらるゝ書状のみを茲に謂ふ推薦状なりと認め新聞雜誌等に掲載する廣告又は揭示し或は頒布するところのビラポスター等は其の性質上推薦状に含まれずとするは選舉の實際並に一般の社會通念に合するものと解し司法省に於ては必しも書状に限らず通常の用法に於て個々の意に達せしめ得る文書の意なりとし、新聞雜誌による推薦廣告は之を含むも立看板ポスターは三、選舉法第四條に所謂「意思を通じて」とは選舉

戸別訪問の程度

二、選舉法第九十八條に所謂「戸別訪問」とは投票を得若しくは得しめ又は得せしめざるの目的を以て連續して選舉人の住居を訪問する行為を謂ふ、市町村内有志を歴訪し又は印刷物を各戸に配布するが如き行為の態様、配布者の人物、配布状況等により戸別訪問に該當するや否やを決すべきものとす、其の他一定の行為が戸別訪問なりや否やは各場合には諸般の事情によりて之を決すべく豫め抽象的に定め難し

運動の費用を支出すること

三、運動の費用を支出すること付具體的の合意ありたる場合は勿論、特に費用の支出に付別段の合意なかりし場合と雖も當然費用の伴ふべき選舉運動を爲すことに付合意ありたる場合をも之を包含するものとす

四、改正選舉法は次の總選舉に關する選舉の手續、選舉運動其の他の準備行為に對しては選舉の期日以前と雖も總て其の適用あるものとす、敢て選舉の期日の公布ありたるや否やは之を問はず同法附屬の勅令及省令等の適用の總選舉を見越して爲す立候補準備行為にして同法又は同法附屬法令の規定に該當するものは選舉の期日全くと定まらざる時期に於ても其の適用あり

對價にして其の者の地位

五、對價にして其の者の地位事務員の種別勤勞の三種度其の他各場合の事情により相當と認めらるる額を超過する事を得ざるものとす

六、選舉法第九十九條に所謂「注意の注意」とは社會通念に從ひ一般普通人の知識經驗及誠意ある者がなす程度の注意を謂ふ一定の事實に付果して相當の注意をなしたるや否やは各具體の場合に付裁判所の判斷により之を定むべきものとす

選舉法第九十九條に所謂

七、選舉法第九十九條に所謂「選舉權を有せざる者」とは「選舉權なき者」と謂ふの義なり從つて假令選舉人名簿に登録せらるべき確定判決書を有せずと雖も之のみを以つて直に選舉法第九十九條に所謂「選舉權を有せざる者」と謂ふことを得ず

八、其他の解釋

九、同一人が同時に同一議員候補者の選舉委員と選舉事務員とを兼ねることは法の禁じたるものと思はれず

十、「選舉權を有せざる者」とは「選舉權なき者」と謂ふの義なり從つて假令選舉人名簿に登録せらるべき確定判決書を有せずと雖も之のみを以つて直に選舉法第九十九條に所謂「選舉權を有せざる者」と謂ふことを得ず

十一、選舉運動者が選舉運動の爲め議員候補者の乗用する船車馬に同乗したる場合に於ては其の選舉運動者が若し議員候補者の船車馬に同乗せざるに於ては支出すべかりし一定額の船車馬賃を自己の割前に付第三三條の規定により其の一定額を算出し選舉運動の費用の支出と看做さるべきものとす

十二、第八八條は選舉取締に關する法規を維持勵行し選舉運動取締の徹底を期せむとするものなり、即ち改正選舉法に於ては選舉運動の費用の最高限度を定めそれ以上の支出を許さず從つて法は之が勵行を期せむが爲費用の支出に付帳簿の記載、書類の保存等を命じ且之を強制し以て支出を明瞭ならしめむとす故に之を監督して法の豫期に副はしむべき途を開き置くことは最も緊要なり、第六六條の精算期間は單に精算に必要と認めらるる期間を定めたるに過ぎず兩者は何等の關係なく矛盾するものに非ず

十三、選舉法第五十五條により演說妨害を罪と爲すには客觀的に辯士が演說を繼續し得ざるが如き状態に達したることを要す故に多少の妨害あるも演說を遂行し得る程度に於ては未だ以て犯罪とはならず

久保木氏の事業

死の進歩發達は近年頗る思ひからず殊にセメント瓦の發達に比し從來幾多の欠點あり各需要家より餘り歡迎を受けざるは事實であつた茲に本郡好間村今新田久保木初太郎氏は如何にもしてその欠點を除去し顧客に満足を與へんものと多年苦心の結果多大の日子と費用とを投じ愈々完全無欠理想的の製品を産出し良品廉賣主義で一般顧客の需に應じてるが財界不況の昨今同業者の大部分が殆んど休業同様のに獨り同氏は各方面より注文殺倒し需用に應じ切れぬ盛況である

在郷軍人 分會長 萩政次

鈴木喜代司

佐藤竹翼

吉田榮治郎

渡邊岩太郎

猪狩三之助

草野眞平

西山新重郎

吉田盛治

吉田甚藏

緒方熊藏

大野村 村長 吉田盛治

大野村 助役 吉田甚藏

大野村 収入役 緒方熊藏

消防組頭 西山新重郎

區長 草野眞平

區長 猪狩三之助

區長 渡邊岩太郎

區長 吉田榮治郎

區長 佐藤竹翼

區長 鈴木喜代司

區長 萩政次

區長 長谷川則道

區長 大和田信太郎

區長 湯本町 長谷川則道

區長 好田村 長谷川則道

區長 下旅内村小島新町 長谷川則道

區長 瀨戶吉郎右衛門

今尚去らぬ!!放牧地問題の崇り熱

難産で行き病んだ磐崎村長 兩派に分れた酒井(健)嘉藏(助役)のかみ 合は行事預り局面展開色気もない高齢の 吉田明德氏に花が咲く

與易に盡さぬ問題の種子

磐崎自治の解剖論

問題の種子時き権兵衛は内心夜叉の明智光秀に其れに連らなる不淨の士憂慮に堪いぬ本村の將來

織内村長職後始と始治の刷新に勇往邁進し以つ當時早速幕を引いて野に降末に可なり曲折を生じた磐て村の福利を圖るべきに當るべき立場にあり乍らカデ

地方に知られ先に本村は放牧地ならぬ管である 牧地問題で左傾右傾と分れ 然るに最近又々問題とな 不逞の態度に出で又斯様な 血塗れとなつて大惨状を演つたのは彼等を以て 其れに連らなる不淨の士憂慮に堪いぬ本村の將來

磐崎村長選舉會場面

助役派の高飛で結局ウヤムヤ

村長選舉の磐崎村會は去る選挙の件を附議す 三月十九日午前十時の定刻四家議員發言を求め 三月十九日午後一時四十分開會出席者 十一時四十分開會出席者 村長選舉に關しては近來 兩派互に暗中飛躍をなし

念告

本紙に登載せる磐崎村に關する一切の文責は私にありま

長 村 崎 磐 德 明 田 吉

本縣工業試驗場新發明

殆ど行詰まる縣下の輸出とビスコ一絹百デニ 絹織物界に新生面を開くべしと本縣工業試驗場では先

公周旋 滑川敏之輔 銘酒近盛 馬目支店 平新田町 平田町 平窪村 草野村

長谷川親 猪狩金之助

磐崎雜感

紛擾を豫想された 最終の村長選舉會

通知に對し村長の交際費中より若干の香奠を支出せる

勸業費の「農業技術員の講習及勸業視察手當」と明記ある費目より自己が勸員

彼が將來を慮るものだ

ツ村長でもなつて村治の爲獨特の雄辯を振い問題の解めに一ハダ脱して誤手腕を振決し力を入れたことは流石

連中は精誠意村の向上に力をつくすに負ふべき酒井助役の進退留意し爾來反目し來りし感問題である此の助役は先に早くも其れ等を豫想して居及収入役辭職の件を承認す所の融和を計り和共一致自放牧地問題の張本人でそのつた改革派は和龍の主張此れより愈々問題の村長選

平新田町
公周旋
滑川敏之輔

平田町
銘酒近盛
馬目支店

平窪村
長谷川親

草野村
猪狩金之助

草野村
渡邊貞三

紛擾を豫想された
最終の村長選挙會

柵から落ちた

吉田明德氏で事極り

嘉藏助役は問題にならず流産

助役昇格派では酒井嘉藏を長を得べく、幹旋の勞を採昇くは昇へて見たが人氣のつたが結局一致點を見出せ無いのには驚いて此れでは推す妥協説は美事に葬られ愈し賣も見込なしと流石の和々決選投票の餘儀なきに至り田龍も匙を投げ投票案を、茲で又助役派の棒頭誰か救船でもないかと思ひ、和龍は頭痛鉢巻で智恵袋氣消沈して居る所に豫ねてを絞る左りとして決選にすれより此の問題憂慮しつゝあは敗戦は判り切つてゐるし矢吹佐市氏は居村の事と自ら飛で火に入る夏の虫に物心共に犠牲を拂へ誠心はなりたくもないし、ソレ誠意其の調停に立ち熱烈な思案の餘り思ひついたは中運動をなし本村の元老と思案の餘り思ひついたは中目せらる鈴木道治、吉田明立の四家氏と相謀り局面展徳、御代武兵衛、小野金太郎候補者の替玉を爲し年老郎、佐川保吉、佐川泰之助いたる色氣のない吉田明德金成新次郎、織内司馬太氏と内心決定選挙に臨み筋郎、の諸氏と親しく調停の書きの助役を置き去りして深議を爲し當日村役場に出席の徳望家吉田明德氏を當頭し兩派の議員に村の平和選せしめ豫定の行動は脱しと自治の圓滑を期する爲めたか和田龍等は策を得たも親しく懇談をなし平和の村のである

愛村を口に唱い
嘉藏助役
の腹の中

今度の警崎村紛擾の原因は意志に反して辭職し(議員収入役より十四年度決算書任期中)臨時雇を務めし際の提出に依り數日に涉り調一日に雇員給料と議員の辯査を遂げ議會へ提出して議價料とを二重取りせる名人員より千六百圓の錯誤あるを指すを指し、村長収入役は辭職せし調査の

簡易保険の契約高
十三億圓を突破

本年内に十五億圓の見込

取付騒ぎの影響で
郵便貯金は増加

簡易生命保険は三月十九日業の異状なる發達を示せり現在にて
契約件數、九百九十一萬圓に達せし以來殆んど四ヶ月半に於ける郵便貯金の銀行預金に對する資本利子現況を聞くに本年二月中の税や預金利率の引下げに伴預金高は八十五萬七千九百ふ影響と見られが中央に於二十一圓で一方拂戻高は八ける銀行の取付騒ぎは勿論十一萬六千五百圓に達し差本縣中通過の某銀行預金拂引四萬七千五百圓の増額戻しが三月末より激増したを示し同月末現在では總等の事情にて一般銀行預金預金高一千七百六十三萬九千九百九十九圓に不安を感じてゐる事と更に今月以降の郵便不景氣の聲が喧しき中にも貯金は愈々増額するものかゝる現象を示すは小額の観測されてゐる

磐崎雜感

此の磐崎村にゴタゴタの多い所以は頭の古錆びた村長の古物杯が村に事有る毎にノコノコと出シヤバリ大さなお切開を爲し一部の勢力ヲ殖に没頭する故なること
古物村長の横綱小野金なごが平銀行湯本出張所の一番頭として預金吸集策に努力する事が小野金の本店及株主に忠なる所以然なるにツマラぬ者共のお先捧になつて問題毎に深入するのは萬年助役では満足しまい一齒に物を挟んだ様な具合で健在なれ

片濱軌道の株式
募集見込難し

募集見込難し

役場一同

片濱地方一帯有志者は飽くまで實現すべく發起者相携へて平町に創立事務所を置き目下同株式募集に熱中してゐるが財界不況の折柄として二十萬圓の株式募集は結局前年度と同様十一圓二十五錢見當であるに因り常磐炭の購入數量は磐城炭礦四十萬噸入山炭礦二十萬噸其他の各炭礦で約十萬噸と豫想さる

鐵道省の
買炭契約

鐵道省の昭和二年度用石炭買入契約は昨今漸く常磐炭を除き他は略全部の内定を野邊氏の手に移り去る三月

時事研究会
佐野屋に催す

佐野屋に催す

中野義助

問題の重役村議和田龍杯は白髮頭の割合に感ひが極めて淺慮だお先開黒に事を爲さんとする時代は二十一の若者の仕業だ
流産村長酒井助役サマも四家議員中立を標榜し奥一齒に物を挟んだ様な具合で健在なれ
契約を前年度と比較するに三十一日午後六時より平二購入數量は約三百五十萬噸にして前年度に比し約五萬噸の減少を見るべき豫定である常磐炭を除いた購入數量は約二百八十萬噸にして前年度購入數量と略同じく購入價格は炭況良好にして市價著しく昂騰せる影響を蒙り山元炭價に於ては多少値上げしたるものと据置きそのものもあるが總平均單價は結局前年度と同様十一圓二十五錢見當であるに因り常磐炭の購入數量は磐城炭礦四十萬噸入山炭礦二十萬噸其他の各炭礦で約十萬噸と豫想さる

立野切

相馬郡福浦村
區長
折笠重雄

品にも使用される演表に於ける輸出商の希望もあるか

◎大野村◎

渡邊森之助	吉田甚吉	高木忠吉	金光寺	圓福寺	船生鶴吉	委員 戸田甚太郎	吉田多吉	大谷伊佐吉	久野藤吾	渡邊竹次郎	高木勘次郎	根本孫三郎	鈴木永太郎	棚部勝意
-------	------	------	-----	-----	------	----------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------

助役 新妻 雄	村長 荒川 忠治	◇鹿島村◇	田子福松	上遠野新重郎	村長 中村 立躬	◇泉村◇	鎌田健治郎	白土卯平治	宮本竹治郎	小野善太郎	吉田保之助	吉田藤五郎	大門熊藏	金成衆太	會田利太郎	横山忠一	根本直	大谷佐金治	吉田丑藏
---------	----------	-------	------	--------	----------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	------	-----	-------	------

楠正隆	森文雄	鯨岡潔	白鳥みよし	若松幸藏	松柏館	山形屋旅館	先崎集惠	籠倉醫院	湯本藝者屋組合	湯本信用無盡株式會社	湯本町	小松源作	波立米松	波立米松	小松源作	鹿島村 村會議員 門馬要治郎	新妻一榮	大瀧榮	波立清次
-----	-----	-----	-------	------	-----	-------	------	------	---------	------------	-----	------	------	------	------	----------------	------	-----	------

藏屋	花園	百軒町 花	平三業保健組合	永山和平	平久保町 瀨富彌	平木村町 鈴木牛乳部	平町北目 遠藤明治	島乃家中里商店	米菓商 藤田ムメ	鶴の柄商 山崎吉次	綴驛前 明治堂菓子店	綴驛前 薄硝子製造所	熊田菓子店	熊田菓子店	薄硝子製造所	熊田菓子店	佐藤三平	永戸屋	久世原鑛泉
----	----	-------	---------	------	----------	------------	-----------	---------	----------	-----------	------------	------------	-------	-------	--------	-------	------	-----	-------

◎内郷村◎

大野村 吉田盛治	吉田甚盛	吉田田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田
----------	------	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

平町會議員 野崎滿藏

太陽生命保險會社 長瀬卯太

平運輸株式會社

平町田町 廣瀬支店

湯本町 大和田信太郎

山形屋

磐城立憲新報

共稅郵價定日行發

九、同一人が同時に同一議

強制し以て支出を明瞭な

大野村 吉田盛治